

AJA Ki Pro Go - リリースノート v4.0

Firmware for Ki Pro Go

全般

ファームウェア v4.0 は、Ki Pro GO の新機能と機能改善が含まれています。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com のサポートページでご確認いただけます。

v4.0 での機能、更新および改善点

- ・ Ki Pro GO は一般的なサードパーティアプリケーションで作成された “.mp4” および “.MOV” ファイルの再生が可能になりました。本機能の互換性については以下のアプリケーションの最新版でテスト済みです。
 - ・ DaVinci Resolve (“.MOV” ファイル)
 - ・ Apple Final Cut Pro (“.MOV” ファイル)
 - ・ Avid Media Composer (“.MOV” ファイル)
 - ・ Adobe Premiere Pro (“.mp4” ファイル)

注記：他のアプリケーションでも Ki Pro GO で再生できるファイルの作成は可能かもしれませんが、AJA では上記のアプリケーションとの互換性についてのみテストしています。他のアプリケーションで作成されたファイルの再生は保証できかねます。

- ・ I、P および B フレームが含まれる “.mp4” ファイルをエンコードすることが可能になりました。v4.0 より前のバージョンの Ki Pro GO で生成される “.mp4” ファイルは I と P フレームのみが含まれていました。本バージョンで B フレームの頻度を設定するユーザー選択項目が “Media” メニュー内に追加されています。B フレームは 0 (P フレーム間に B フレームを入れない)、1、2、3 と 4 から選択いただけます。この設定は収録チャンネル毎に個別に設定可能です。
- ・ エラー内容が解消済みの収録に関連したアラームをフロントパネルからクリアする機能が追加されました。なお、解消されていないアラームについてはクリアすることはできません。

- ・ REST API がアップデートされ、外部制御システムから Ki Pro GO を正しくシャットダウンすることが可能になりました。

ファームウェアアップデート時の配慮事項

- ・ ファームウェアアップデートの前に、CONFIG メニューの Factory Reset（工場出荷状態に戻す）を行ってください。
- ・ ファームウェアアップデート完了後は、一時的に Web ブラウザ（Safari、FireFox など）との接続が途切れますので、その場合は Web ブラウザを一度リフレッシュすると Web UI に再接続ができます。
- ・ 収録中にはファームウェアアップデートは行えません。ファームウェアアップデートを行う前に、Ki Pro Go が（収録中や再生中ではなく）停止状態にしてください。